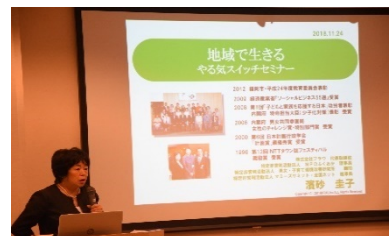


# 第4期 4回目授業

～1時限目 (株) フラウ 代表取締役 濱砂先生～

## やる気スイッチセミナー



(株) フラウ：ドイツ語で「主婦」、「理不尽」という意味。

当時、福岡では子供の緊急病院や産婦人科などの情報誌が無かった。→無いなら作ろう！！諦めるのではなく、出版社を創った。→我慢ばかりしていても社会は変わらない。「子づれでCHA・CHA・CHA」という情報誌創刊。

◎主婦目線の情報誌を主婦の力で作った。(当事者の視点から生まれた地域密着型子育て情報誌) テレビなどで特集・取り上げられた。声をあげたことでマスコミに取り上げられ、自分達がおかしいと思うことを社会に提言した。→正義をビジネスに！理念を利益に！

◎小学生新聞を作った。子供たちを応援しよう、地域で見守っている親を応援しよう。今の親は自分の子供のことしか考えていない。視点を高く持って子育てをしよう。→熱中小学校新聞を作ってください。

→これまでの経験から生活の中の不満や困ったことが、次のソーシャルビジネスのヒントになるのではないかと地域の中での「きづき」を大事にする。

社会には、A面社会とB面社会がある。(A面：企業社会、B面：地域・子育て・定年後の生活・介護など) 高齢社会の4大特徴「高齢化」「女性が増加」「一人暮らしが増加」「貧困層が増加」→自分の管理をしましょう。→●自分の棚卸しをする●お金の管理(今後の人生がお金がいくらかかるか)●健康の管理(早期発見・早期治療のためにも定期的に乳がん検診を行いましょ)●人の管理●ツキの管理(ツイテいる人と付き合う、前向き、素直でいる、自分を肯定的に見る、自分と未来は変えられる、夫を真のパートナーにしよう、死ぬまで勉強など) 50代洗練、60代豪華、70代上品、80代幻想的に、90代夢のように、100歳代永遠にハッピー。



～2時限目 筑波大学 客員教授 石原先生～

## AIやロボットで暮らしはど～なる？

AI (藍) とロボット (木偶) といえば徳島

●TOKYO2020 ロボットがもてなすショーケース

●OSAKA2025 徳島は vs 東京から with 大阪へ

●日本の最重要課題「働き方改革」と「生産性向上」 光(LED) の王国とブロードバンド(CATV、4K8K)

1995vs2015 ガラケーからスマートフォンへ。携帯電話が進化、当初予想していなかった。今やスマートフォンは携帯電話ではない。LINE、SNS、インターネットなど。コンピュータの処理能力は指数関数的に向上。

◎ロボットやAIに巨額の投資を続け、情報革命の旗手となっている日本の企業家は？→SoftBankの孫正義社長。幕末の風雲児、坂本龍馬が現代に蘇る。人口知能(AI)は、あと数十年で人間の知識を超える。

SoftBankのロボット：ペッパーくん。世界中のテクノロジー企業へ、10兆円規模の投資。戦略的持株会社。

◎当初、ROBOTの定義は人間の労働の代替する機械という意味だったが、現在人間との関係性・要素技術は大きく拡張されている。

日本こそROBOTが必要→少子高齢化社会への対応：医療介護ロボット、農業ロボット、次世代産業ロボット

安全安心社会への対応：災害対応ロボット、見守りロボット、テロ対策ロボット

産業立国再生の切り札(新産業としてのロボットへの期待)、7つの新産業の1つがロボット。

新しい文化スタイルの創造→日本が生んだ世界のロボットキャラクター(ドラえもん、鉄腕アトム、エヴァンゲリオン、ガンダム等)→日本人は昔からロボットに対して親しみがわいている。相性が良い。

「機械の人間化」人間型ロボット(ヒューマノイド)、AI(人口知能)..アンドロイド?敵か味方か?

「人間の機会化」装着型ロボット(パワースーツ)、BMI、iPS・・・サイボーグ?

→AIやロボットは、日本でこそ発展していくもの。今後2020・2025が楽しみ。チャンスはまだまだある。